

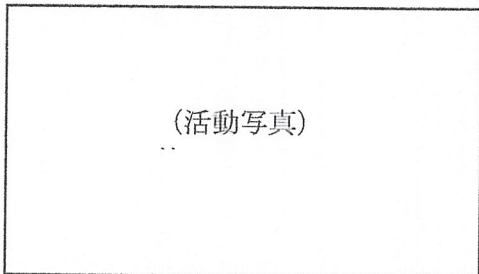
平成 21 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	根羽っ子 応援事業 (読み聞かせから始まる地域の輪)
事業主体 (連絡先)	読み聞かせ同好会 代表 片桐 久与
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト / ハード / ソフト・ハード
総事業費	292千円 (うち支援金: 282千円)

297

事業内容

- 1、小学校へ毎月1回の読み聞かせ、年、12回
- 2、クリスマス会、6年生お別れ読み聞かせ会 各1回
- 3、小学生からの感謝の会 1回
- 4、保育園への読み聞かせ。年10回
- 5、ひよこ学級への協力 講師依頼、1回
- 6、研修会 講師による読み聞かせの実施とその後の指導研修
小学校2学年単位で3回、会員教師への指導1回
- 7、講演会 中学生を対象とした講演、
小学生にむけてのお話、講師会員との意見交換
- 8、通年活動のなかに地域の遊び、資料を取り入れる



(活動写真)

【 A 】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

読み聞かせと言う活動自体地味な活動である。しかし同好会が発足して10年と言う積み重ねを考えると、この活動に参加してくれる会員の構成、学校の理解、児童の態度などが地域の中に溶け込んで来ている様に感じられた、その様な意味から考えても有意義な節目としての事業効果を見る事ができたと思われる。

支援金補助により講演会、研修会などを村内外、広く呼びかけられた事により、活動が地域の中でも関心を引くきっかけに成ったのではないかと。

【目標・ねらい】

- 子供たちへの読み聞かせ
- 若いお母さんへの呼びかけ
- 会員の意思統一
- 地域と学校との連携

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

ともすれば消えそうな活動を如何に続けて行くか、やらなければやらずとも問題のない活動に如何に付加価値をつけるかは、そこに住む人達の考え方と、価値観に拠るものと思う。根羽村に於ける読み聞かせも必要不可欠とは思われないが、地域を思い、少ない子供たちを考える時、自分達に出来る事で、支え合いたいという人達の気持ちを大切にこれからも読み聞かせ活動を続けていきたい。自己資金ゼロの会が講師による勉強会、講演会を開催できた事は支援金のお陰だと感謝している。今後も地味な活動だからこそ続けなければの気持ちで取り組みたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。